

外國宣傳情報第一號

内閣情報部七・三（延着）

湖南・貴州兩電臺北京放送（六月二十三日）（支那派遣軍報道部報告）

◎蔣委員長演説の決論

聽衆諸君！蔣委員長は本月十七日擴大中央記念週間に際し一篇の演説を發表し其の意義深

長にして吾人は今蔣委員長の演説に決論を附せんとするものなり。

三年前を回顧するに敵は中國を華北に於て壓迫し蘆溝橋事件直前我國の恐日病者は敵國の陸海兩軍の強大さに威壓を感じる者多數に及べり。當時謠言紛々として人心動搖し何人が今日中國が日本に大打撃を與へ得るを豫知し得んや。敵軍の侵華戰爭は未だに結束を得る能はず吾人はアビシニヤ、チエツコ、ボーランド等の國家が獨逸に併合せられたるを目前に見又二十年前戰勝に醉へる佛國が獨逸に和を請へるを目撃せり然して世人が弱國視せる中國が三年に亘り抗戰し勝利を確信せるは實に一大教訓を世人に與ふるものなり。

中華民族は不屈不撓の精神を堅持し自己の獨立及自由を確保し敵をして歐洲大戰による漁夫の利を獲得せしめざるは吾人の團結力と資源の豊富なるに基づくものにして中華民族は博愛精神を抱有し民族の力量の偉大さは不滅なり。

中國民衆の抗戰信念は鞏固にして現在中國將士は敵人に對して受動的地位に立ち明日の勝

利を確信せり。中國の一切の物資及精神は總動員せられ總て最高推進力の下に邁進しつゝ「國民公約」の原則の下に最後の勝利を獲得す可く民衆各自は完全なる武装を整へ此の最後の三分間を戰ひ抜く可きなり。

同胞よ！ 努力せよ！

外國宣傳情報第二號

内閣情報部七・三（延着）

湖南・貴州兩電臺北京語時事解說（六月二十四日）　（支那派遣軍報道部報告）

◎日本の香港、九龍侵略は不可能

諸君！ 暴逆日本は自己の利害關係を顧みず極東の霸者たらんと欲し盲目的に對支武

力侵略を開始したる事は諺にありしが「盲目蛇を怖れず」なり。

ヒトラーは電撃作戦を以て英佛に進攻し瞬く間に地を屈服せしめたり。暴逆日本は好機到來せりと密かに代表を派遣羅馬、ベルリンを訪問せしめ獨伊より機体にも不義なる利益を獲得せんと企圖せるも豈圖らんや獨佛協定が成立せるにも拘らず暴日は極東に於て依然機會を得る能はざりき然し日本は英佛の敗戦に乘じ太平洋上に於て其の野心を擴大せんとするも如何にせん中日の長期戦により意の如くならず故に中國との停戦を進急せしが中國は最後の勝利を獲得するに非ざれば停戦に應ぜざるを以て日本は已れを得ず歐洲交戦國の極東に於ける權益を脅し各國をして對支戦争を終結せしむ可く壓迫せり。即ち九龍、香港を奪取せん企圖せり。然し暴逆日本は果して之を奪取し得るや否奪取は全然不可能なり。何故なれば米國は極東に甚大なる權益を有するを以て日本の斯かる暴逆行動を容認する事は不可